

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	看護学分野
学籍番号		院生氏名	谷山 牧
通学キャンパス			
論文題目	就労支援を受ける生活困窮者の就労意欲に影響を与える健康特性の構造の明確化		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 研究の概要</p> <p>本研究は、就労支援を受ける生活保護受給者、生活困窮者自立支援法の対象者の就労意欲に影響を与える。健康特性の構造を明確化し、介入のあり方を明確にすることを目的としている。</p> <p>対象者31名へ半構造化インタビューを行い、StraussとCorbinのGrounded Theory Approachを参考に質的帰納的に分析を行った。生活困窮者の就労意欲に影響を与える健康特性の4カテゴリーが抽出された。分析過程で認められた健康や就労意欲に影響を与える関連要因として3カテゴリーを抽出した。そしてこれらの要因が関連しあい、[複雑な健康問題を抱えながらの就労による利点と、生活保護受給のベネフィットの間での就労意欲のゆらぎを引き起こしていた]ことを明らかにした。受給者の就労支援に医療や心理の専門職が参加することにより、より効果的な就労支援につながる可能性が示唆された。</p> <p>本研究は倫理的に問題はなかった。</p> <p>日本では、就労支援を受ける生活保護受給者、または生活困窮者自立支援法対象者の健康問題が就労に与える影響、また就労後の健康状態の変化を明らかにする調査はほとんど行われていないことから、就労支援を受ける生活保護受給者／生活困窮者自立支援法の対象者の就労意欲に影響を与える健康特性の構造を明確化したことに新規性がある。就労支援を受ける生活保護受給者／生活困窮者自立支援法対象者への支援に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>2. 審査経過</p> <p>12月14日に初回審査会を遠隔システムでキャンパス間をつなぎ開催した。口頭試問では、研究の背景、分析手法、研究の結果および提案されたプログラム等について質問を行い、適切に応答した。前述の内容について論文への追加説明および修正を求めた。修正論文が提出され、適正な修正が行われたことを全員で確認した。</p> <p>3. 合否結果</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(看護学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 世良 喜子</p> <p>副 査 谷 浩明</p> <p>副 査 斎藤 照代</p>		